

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年6月5日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年6月3日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	フランス
留学先大学	リヨン政治学院 (日本語名) Sciences Po Lyon(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	フランス語・英語 / フランス語・英語
留学期間	2023年9月～2024年5月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input checked="" type="checkbox"/> その他:学部の区分がない
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期:9 月中旬～12 月中旬(試験は 1 月) 2 学期:2 月中旬～ 4 月末(試験は 5 月) 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	1948
創立年	1441

## 留学費用

留学費用項目	現地通貨 (EUR)	日本円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	5500	850000-950000 円	
食費	3000	500000円	
図書費	100	17000円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	99.9	17000円	
現地交通費	0	0円	(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1000	170000円	
被服費	230	40000円	
医療費	0	0円	
保険費		110000円	形態: 明治大学の義務のもの
渡航旅費		100000円	
ビザ申請費	50	7500円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		円	



## 渡航関連

<b>渡航経路</b>
<b>往路 出発地:</b> 成田 <b>目的地:</b> シャルルドゴージュ空港 <b>経由地:</b> 北京 <b>復路 出発地:</b> シャルルドゴージュ空港 <b>目的地:</b> 羽田 <b>経由地:</b> 直行
<b>渡航費用</b>
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:  料金:  ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 中国東方空港      料金: 110000 円  復路 航空会社: JAL      料金: 0(父のマイレージを使わせてもらいました)      ∴ 合計: 110000
<b>航空券購入方法</b>
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:      ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: 各オフィシャルサイト      ) <input type="checkbox"/> その他(      )
<b>滞在形態関連</b>
<b>1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)</b>
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:      ) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
<b>2) 部屋の形態</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数      )
<b>3) 共有部分</b>
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
<b>4) 住居を探した方法:</b>
LivinFrance というサイトで探しました。最終的にエージェントは OQORO という会社で、OQORO のサイトでも探せるみたいです。
<b>5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>
2)部屋の形態にはアパートと答えていますが、シェアハウスです。神経質でない人にはお勧めできます。ルームメイトたちと仲良くなって一緒にご飯を食べたり映画を鑑賞したりできて楽しかったです。フランスは男女共用が主なので、それが気になる方は女性/男性のみに絞って探す必要があります。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: 現地の友人 )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省の在留届を登録すると(これは義務です)、管轄の地域の大使館事務所から危険な事象などについてメールで連絡がきます。私が住んだ地域は治安が良くない地域として知られていましたが、夜に華美な格好をして出歩かなければ大丈夫です。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

問題なし。毎月20ギガのプランでしたが、旅行などで外でたくさん調べ物をする必要があるときは使い切ってしまうこともありました。そんな時は近くの人にテザリングさせてもらえないかと頼んでいました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本の両親から送金してもらい、現地ではデビットカードで支払っていた。銀行口座を現地で開設し、行政の家賃補助を受け取るために使用していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

なし。フランス人が普通に暮らせているので私たちも暮らせます。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )	
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Global Justice european perspective		国際的正義 ヨーロッパの視点から
科目設置学部・研究科	DEFS	
履修期間	秋学期	
単位数	5ECT	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が11回	
担当教授	Sophie Papaefthymiou	
授業内容	近代の世界的な問題を Global Justice の理論を使って分析する。	
試験・課題等	グループでのプレゼンまたは試験、あるいは両方を選択可。	
感想を自由記入	教授が説明するセオリーは難しかったのでよく集中して授業を聞いている必要がありました。内容は興味深かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
CITIES and ASPECTS OF GLOBALIZATION		都市とグローバルゼーションの側面
科目設置学部・研究科	DEFS	
履修期間	秋学期	
単位数	5ECT	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120/180分が12回	
担当教授	Samadia Sadouni	
授業内容	近代の社会学・都市計画について	
試験・課題等	リヨンの街を題材に社会的な視点からリサーチを行いプレゼン。	
感想を自由記入	興味深いです。グローバルゼーションとは何か、それらがどのように都市開発に活用されているのかを学ぶことが出来ます。	



履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
French history in films	映画に見るフランスの歴史
科目設置学部・研究科	DEFS
履修期間	秋学期
単位数	5ECT
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が11回
担当教授	C. Jon DELOGU
授業内容	フランスの歴史が反映されている映画を鑑賞し、考察しながらフランスの歴史を学ぶ。
試験・課題等	中間試験と期末エッセイ
感想を自由記入	フランスの近代の歴史の重要なできごとについて学ぶことができ、ゆう意義だと感じました。授業前に毎回課題の映画を見るのが少し大変でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
UK-US Special relations	英米の特別な関係
科目設置学部・研究科	DEFS
履修期間	秋学期
単位数	5ECT
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が11回
担当教授	Thierry Fortin
授業内容	戦後のアメリカとイギリスの外交
試験・課題等	期末にライティング
感想を自由記入	先生の話すスピードがとても早いので集中力が必要でした。イギリスとアメリカの外交については非常に面白かったです。先生が昔軍で働いていたそうで、それに関連したテクニカルな話もしてくださりました。



履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Violence, Insécurité, Maintien de l'ordre en Afrique	アフリカにおける暴力、不安定さ、秩序の維持
科目設置学部・研究科	DEASC
履修期間	春学期
単位数	5CF
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が12回
担当教授	Josiane jongwane Belobo
授業内容	アフリカで起きている政治的な暴力に関する問題の原因を構造的に学ぶ。
試験・課題等	学期末にライティング、毎週授業前に資料を読む。
感想を自由記入	興味のある分野だったため非常に興味深かったです。授業内では先生が話すだけでなく、関連する動画などを使ってわかりやすく説明してくださりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Économie du Japon et l'intégration régionale en Asie	日本経済とアジアの地域統合
科目設置学部・研究科	DEMEOC
履修期間	春学期
単位数	3ECT
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が11回
担当教授	Béatrice Jaluzot, Jérémy Jammes, Cauthier Mouton
授業内容	前半はASEAN、後半は日本経済について。
試験・課題等	ASEANと日本経済に関してそれぞれ学期末にライティングを一つずつ。
感想を自由記入	日本経済のセクションは、国際日本学部の日本社会システム論や高校までの勉強と類似する内容が多くあるので、復習とフランス語の練習に効果的と感じました。ASEANのセクションでは東南アジアの国々の展望について学ぶことができます。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Immigration, Politique société	移民、政治、社会
科目設置学部・研究科	Affaire internationale
履修期間	春学期
単位数	5ECT
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が11回
担当教授	Laure Chabbah Malicet
授業内容	フランスの移民政策の歴史・問題について学ぶ。
試験・課題等	学期末に試験
感想を自由記入	留学中にとった授業の中で一番好きだった授業の一つです。移民政策はフランスの政治で非常に重要な課題であるため、その歴史や根本的な問題を学ぶことが出来て有意義でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Histoire de la France des années 1870-1945	フランスの歴史 1870年-1945年
科目設置学部・研究科	なし
履修期間	春学期
単位数	5ECT
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が12回
担当教授	Emanuelle Jousse
授業内容	1870年から1945年のフランスの歴史
試験・課題等	学期末に筆記の試験
感想を自由記入	履修した授業の中で一番難しい授業でした。フランス革命後の国の体制や戦時下の国際関係など複雑な内容を扱う上、先生の話すスピードも早かったです。しかしそれだけ学びも多い授業だと思います。





履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
FLE(Français comme langue étranger)	外国語としてのフランス語
科目設置学部・研究科	
履修期間	通年
単位数	5ECT/1 セメスター
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	語学チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 10 回
担当教授	Inés Brouard
授業内容	フランス語学習
試験・課題等	ほぼ毎回の授業で少しの宿題がある。期末に筆記と口頭試験。
感想を自由記入	非常に楽しくフランス語を学ぶことが出来ました。先生は授業を楽しくインタラクティブなものにしようとたくさん工夫をしてくださいました。グループで話し合うものや地元の美術館に行くなど、さまざまなアクティビティを用意してくださいました。



## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)	
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等	
たくさんの周りの人とのお話し	
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。	
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。	
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。	

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
 (例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	フランス語学習(高3から細々続けていました。)
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	出願書類作成・面接
留学開始年	1月～3月	留学先へ出願準備
	4月～7月	Acceptance Letter 受け取り、ビザ取得、滞在先探し、航空券予約
	8月～9月	渡航
	10月～12月	授業を受ける。12月末に最終課題のプレゼンやエッセイ、試験
留学/帰国年	1月～3月	バカンスで旅行。2月後半から2学期。
	4月～7月	学期末試験、帰国。今現在。
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

フランス語への興味と専攻内容がマッチしていたことが決め手となりこの留学先を選びました。フランス語の学習を高校3年生の時に始めて以来、大学入学後も細々と続けていました。いつか留学したいという気持ちがあったため、留学にフランス語圏を選び、英語とフランス語を高いレベルで話せることを今後の自分の武器にしたいと考えました。また、学部では国際関係を主に学んでおり、帰国後から卒業論文の執筆に取り組むことが分かっていました。私が留学したリヨン政治学院は、名前の通り政治を勉強する学校です。実際、ほとんどの留学生が彼らの母国の大学で国際関係や政治化学を専攻していました。この学校での学びは私の専攻と非常に関連性が高く今後の研究に活かせると考え志望校を決定しました。さらに、私は小さい頃からクラシックバレエを習っていたため、バレエの本場としてフランスに対する憧れを持っていました。当時のフランスに対するイメージは伝統ある文化や建造物などの表面的でロマンチックなものでしかありませんでしたが、フランス語の学習や国際日本学部に留学に来たフランス人との交流を通して、フランス人の持っている相手を尊重しながら自分の気持ちや意見を的確に表現するスキルに魅力を感じ流ようになりました。フランスで一年間過ごし周りの人との関わりからこのような姿勢を自分自身も学びたいと考えました。

留学先での生活は言うまでもなく非常に充実したものでした。フランスの学校で英語で授業を受けていると、授業を通して留学生の友達は多く出来ましたがフランス人の学生と仲良くなることは想像ほど簡単ではありませんでした。そこでフランス人の友達を作るためにサークルに入りました。ミュージカルのサークルで、年度末にチャーリーとチョコレート工場の公演を行いました。公演に向けて毎週リハーサルがあったため、そこで友好関係を築くことが出来ました。また、留学先の大学でフランス人に向けて行われている日本語の授業にボランティアとして参加させてもらいました。そこで日本語を学んでいるフランス人と仲良くなることができ、言語交換を楽しんでいました。また学校外では、市内にある日本語補習校(日仏家庭の子供たちが毎週土曜日に日本語で日本とほぼ同じ教育を受けられる学校)にも2週間に1度ほどの頻度でボランティアに行かせていただき、5-6歳の子どものクラスのお手伝いをしていました。このような経験から、自分と同じ大学生の世代以外の人とも関わることが出来たことは有意義だったと感じています。留学前は、自分の語学の上達のために日本語は遮断しフランス語と英語だけで生活すると意気込んでいました。しかし実際に生活してみると、日本語をネイティブとして話せることや日本人であることを逆手にとって利用することで多くの人のつながりを築くことができました。

旅行も留学中の楽しみでした。特に、今まで明治大学に留学していたヨーロッパからの友人に会いに行く旅行が非常に楽しかったです。久しぶりに会ってお互いの近況報告や将来についてなどたくさん話しました。交通機関は日本よりも安く、飛行機や長距離バスはとても手頃だったため駆使しました。長距離電車は若干高いですが日本と違って早めに入ればそれだけ料金は安く収まります。行った先々でホステルに泊まっていたのですが、そこで出会う人たちと仲良くなってお話しできたのも良い思い出です。

留学中は想定外のことがたくさん起こります。私の場合は行政手続きがうまく行かない、ご近所さんとトラブルになり自室の窓に卵を投げつけられる、その他ここには書けない内容などなど、。ですが、ある程度頑張って解決しようとしてもどうにもならない問題は考えすぎずそれがフランスかあと受け流すようにしていたら、ストレスを溜め込むことなく過ごすことが出来ました。

留学を志すみなさんの中には、留学後の就活の問題や語学力、環境の変化など、いろいろな要因について不安に思う人がいるかもしれません。私もその1人でした。しかし、留学の経験はそれらの不安以上に貴重な経験になると確信しています。この報告書が、みなさんの背中を少しでも押すことが出来れば嬉しいです。

